

第 19 回 診断病理サマーフェスト ―病理と臨床の対話― 開催報告

2025 年 12 月 8 日

聖マリアンナ医科大学 病理学（診断病理） 堀井理絵
（第 19 回診断料理サマーフェスト世話人）

今年のサマーフェストは、乳腺をテーマにオンサイトとオンラインのハイブリットで開催されました。乳腺病理に関するサマーフェストは 2014 年以来 11 年ぶりとなりました。

オンサイトは 9 月 6 日（土曜日）と 7 日（日曜日）に、東京 恵比寿の EVENT SPACE EBiS303 にて行い、その内容を 9 月 16 日（火曜日）から 10 月 10 日（金曜日）にオンデマンド配信しました。オンサイト開催前日の 9 月 5 日には台風 15 号が日本列島を横断し、新幹線が遅れ、一部の講師はその影響を受けました。しかし、開催当日は好天で、聴講者への影響は少なく、安堵しました。

参加者数は 870 名で、うち講師・委員・スタッフを含む現地参加者数は 103 名でした。参加者区分の内訳は、一般参加：655 名（75.3%）、研修医（初期、後期両方を含む）・大学院生・臨床検査技師：193 名（22.2%）、診断病理サマーフェスト委員・講師・スタッフ：22 名（2.5%）でした。参加者のうち日本病理学会会員は 698 名（80.2%）で、非会員は 172 名（19.8%）でした。参加者は例年に比べてやや多く、その理由としては、今年の 6 月に乳癌取り扱い規約が改訂されたため聴講希望者が多かったこと、日本病理学会に加え他学会の会員に広く周知したことなどが考えられます。

プログラムと担当講師の先生方は下記のとおりです。乳腺病理の形態診断、バイオマーカー診断、遺伝子診断を包括し、かつ、それらの基礎から最先端までを含む充実した内容でした。臨床的には、画像診断と乳癌の治療（手術と薬物療法両方を含む）に関する講演を賜りました。遺伝子変異と組織形態の関連についての講演もたいへん興味深く、好評でした。質疑応答が多く、初日、二日目いずれも若干、終了時間が定刻を過ぎてしまいましたが、途中で退席される方はほとんどおられませんでした。開催後には、たいへん勉強になったとの感想を複数頂きました。私自身も同感で、講師の先生方の深い知識と多数の経験に裏打ちされたお話に感銘を受けました。

ハンドアウトはたいへん厚く 251 ページに及びました。各項目は新しい乳癌取り扱い規約に沿って、詳細に記載されています。サマーフェスト終了後も参考書として役立つ冊子となりました。

本サマーフェストの企画・運営については、博愛会相良病院 病理診断科の大井恭代先生に多くのご助言を頂きました。運営事務局は株式会社学会サービスの中本文也様にご担当いただきました。大井恭代先生をはじめとする講師の先生方、ご参加の皆様、運営スタッフの皆様にご心から感謝申し上げます。また、矢持淑子先生、鬼島宏先生をはじめとする

サマーフェスト委員会の先生方には、乳腺病理をテーマに選んでいただき、準備段階から開催までたいへんお世話になりました。ありがとうございました。日本病理学会事務局の皆様、本会の成功にお力をお貸しくださった皆様にも深く御礼申し上げます。

【プログラム】

2025 年 9 月 6 日（土）		
乳腺画像診断	聖路加国際病院 放射線科	角田博子先生
乳腺針生検の病理診断 Overview	博愛会相良病院 病理診断科	大井恭代先生
病理診断① 上皮・筋上皮性腫瘍	滋賀医科大学医学部附属病院 病理部	森谷鈴子先生
病理診断② 非浸潤性小葉腫瘍	倉敷成人病センター 病理診断科	大森昌子先生
病理診断③ 乳管内増殖性病変	静岡県立静岡がんセンター 病理診断科	片山彩香先生
病理診断④ 乳頭状病変	三重大学医学部附属病院 病理診断科	小塚祐司先生
病理診断⑤ 線維上皮性腫瘍	埼玉メディカルセンター 病理診断科	桂田由佳先生
病理診断⑥ 間葉系腫瘍・その他	大阪医療センター 臨床検査診断部・臨床検査科	森 清先生
第 19 版乳癌取り扱い規約の改訂点	長崎大学病院 乳腺センター／病理診断科・病理部	山口 倫先生
浸潤性乳癌の病理診断 Overview	聖マリアンナ医科大学 病理学	堀井理絵
病理診断⑦ 浸潤性乳癌 特殊型	がん研究会がん研究所 病理部	大迫 智先生
2025 年 9 月 7 日（日）		
バイオマーカー診断① ホルモン受容体・HER2	東邦大学医学部 病院病理学講座	本間尚子先生
バイオマーカー診断② PD-L1・Ki67	東京慈恵会医科大学 病理学講座・病院病理部	坂谷貴司先生
浸潤性乳癌の治療	京都大学大学院 医学研究科外科学講座乳腺外科学	増田慎三先生
遺伝性乳癌の臨床病理	聖路加国際病院 病理診断科	鹿股直樹先生
遺伝子診断と病理診断	がん研有明病院 乳腺センター	上野貴之先生
浸潤性乳癌の分子病理診断	国立がん研究センター中央病院 病理診断科	吉田正行先生

